

## ステイトメント

ある蚤の市で、古いポーランド製のポストカードを見つけた。  
絵本風のイラストの上には、よく見てみると透明なレコードの溝のようなものが印刷されている。  
それは東西冷戦時代、禁止されていた西側のロックやポップスなどを密かに聞くために、  
ポストカードに見せかけて作られたソノシートだった。

秘められたその溝（音溝）を眺めながら、ここからどんな音が再生されるのかを想像する。  
その行為は、どこかで今の自分の作品制作につながっていくのではないかという感覚を覚えた。

例えば目の前に広がる世界にも、未知の情報を内包する音溝のようなものが漂っているとしたらどうだろうか。  
レコード盤の溝に針が触れ、その振動が電気信号に変換されて音が聞こえるように、この世界に漂う溝らしきものの感触を捉えて、絵の中で何かに変換させることができたなら、今までに見えていなかった世界を表現できるかもしれない。

そんなことを考えながら制作していた。